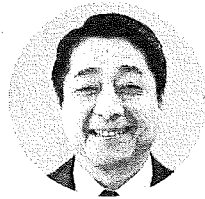


2009年(平成21年)11月11日(水曜日)

17

【第三種郵便物認可】



VB 仕掛け人

氏一 関 洋 代表 せき ザ・オフィス

地域産業のコーディネーターを手がけるザ・オフィスせき(岩手県一関市)の関洋一代表はコンサルタントと呼ばれるのを嫌う。「地域の産業活性化は先生として上から目線」で接するのではなく、共に一歩ずつ踏

せき・よついち 1952年(昭27年)岩手県紫波町生まれ。東京理科大学工学部卒業後、日東配電機(現ニットーハイ)入社、取締役を経て98年に独立開業。盛岡市産業支援センターの専任インキュベーターマネジャーなどとして活動中。

み出すことにある」と信じ、までの起業と同様、意欲とるからだ。自らを企業世話 キャリア、スキルなど根拠人と称するように、起業家が明確なら、(我々が)それに寄り添う支援を信条と、の良さを引き出すことで支援体制は比較的整っている点は何か。

経営計画や販路、側面支援

する。関代表にベンチャー業を成功に導ける」企業の経営環境や支援の注「ビジネスは不満や不便意点などを聞いた。

——地域経済の悪化に伴い、ベンチャー企業の経営環境に変化はあるか。コスト削減など新たな対応を迫られており、これがビジネスチャンスにもつながる。ベンチャー企業にとつて起業せざるを得ないケースが出てくる。ただ、これ

「リストラや会社倒産に よって半ば追い込まれた形で起業せざるを得ないケースが出てくる。ただ、これ

に設けた「産学官連携研究 センター」と、「盛岡市産業支援センター」の2施設でマネジャーとして多くのベンチャーを支える。『来る者を拒まず、去る者を追わず』だ」

「盛岡市は現在、起業の段階に応じて3つの支援施設を設けており、起業の支援体制は比較的整っている点は何か。

「経営者は創業初期において、市場や顧客と必死に対話し、評価されようと努力するが、従業員が増え始めると不慣れた管理業務に追われる。ここで我々支援者が『O〇セミナー』受講に象徴される会計や労務など管理技術に走らせてはいけない。顧客不在の管理に陥れば命取りになりかねないからだ」

「事業経営はあくまで事業者本人がするので、私は伴走者であり黒子に徹する。起業家は自信や自負がある。盛岡支局長 入江学」

「事業経営はあくまで事業者本人がするので、私は伴走者であり黒子に徹する。起業家は自信や自負がある。盛岡支局長 入江学」

中小・ベンチャー